



内山美穂子
(拓政会) 議員



全国的に社会問題になって
いるが、問題が大きくなる
前に予防策が必要。負の遺産では
なく、地域活性化の資源として再
生できるよう取り組むべきである。

(1) 空家の全町的な調査の進捗状況
と所有者へ意識調査のアンケート
を行うことについて。

(2) 「空家等対策計画」の策定と協
議会の設置について。

(3) 「特定空家」除却の助成について。

(4) 空き家バンクを開設する考えは。

(5) 地域活性化のために有効活用す
る考えは。

町長 (1) 昨年8月に空き家の概
略調査を実施しており、227軒
の空き家が判明した。このうち1
82軒は特に問題はなく、残る45
軒も十分な管理状態にはないもの
の、直ちに住民生活に深刻な影響
を及ぼす危険な空き家はなかった。

このことから、所有者に対する
意識調査などは実施していない。

(2) 住民の生活環境に深刻な影響を
及ぼす危険な空き家がなかったこ

問 「空き家対策」について

答 空き家の適正管理について啓発に努めてい
きたい

とから、今後における空き家の状況
などを踏まえて、検討していきたい。

(3) 今後特定空家に該当すると判断
される状態となった場合には、法
令の手順に沿って手続を進めたい。

特定空家とは・・・



- ①倒壊等著しく保安上危険とな
るおそれのある状態
 - ②著しく衛生上有害となるおそれのある状態
 - ③適切な管理が行われていないことにより著
しく景観を損なっている状態
 - ④その他周辺の生活環境の保全を図るために
放置することが不適切である状態
- にある空き家等をいう。

(空家等対策の推進に関する特別措置法)

(4) 定住対策を進める上で必要と認
識している。道では「空き家情報
バンク」の開設など、空き家等の
有効活用を図る取組方針の素案を
取りまとめたところであり、道の
取組状況を見定めながら、来年度
からの事業化に向けて取り組んで
いく。

問 図書館を核にした地域づくりと郷 土資料のデータベース化について

答 郷土資料の整理・保存は町の重要
な責務であり、今後検討していく

(5) 本年4月から実施している「マ
イホーム応援事業」の活用により、
移住定住が促進され、空き家の解
消にもつながることから、空き家
の所有者へ本事業を周知し、住宅
ストックの有効活用に努めたい。



問 幕別町図書館は、昨年度全
国初の斬新な蔵書管理シス
テムを導入。情報の拠点を指す
この取り組みに全国から注目が集
まっている。地域づくりの視点で、
文化歴史など知的財産の情報をき
ちんと収集し、整理した上で図書
館と連携して活用することが重要
と考える。

(1) 資料館の整備計画は。

(2) 資料のデータベース化や図書館シ
ステムと連動して活用する考えは。

(3) 郷土資料の専門的な調査や整理
保存について、地域おこし協力隊

の活用や学芸員の登用は。

(4) ボランティアの育成について。

教育長 (1) 蝦夷文化考古館、ふるさと館の両施設は老朽化が進んでおり、本年3月に「(仮称) 幕別町郷土文化資料館」整備等基本構想案」を作成し、検討を行っている。

(2) 基本構想の中で今後検討していく。

(3) 専門的な人材としての郷土文化研究員や生涯学習アドバイザーを配置しており、現在のところ新たに「地域おこし協力隊」制度の活用は考えていない。

(4) ボランティア組織の「ふるさと館事業委員会」は、郷土史の保存等を行う上で重要な組織であり、今後とも安定的に活動されるよう新たな委員の募集などを行い、各種業務などに支障のないようにしたい。

再質問 この一月に帯広で開かれたシンポジウム「知の地域づくりを考える」にパネリストで出席した飯田町長(当時教育長)は、幕別図書館の実践について前向きな発言をされたが、今後町として具体的にどう取り組まれるのか。

答 図書館は単に本の貸し出しだけでなく、地域づくりの中心であり、地方創生の中で位置づけていくべきと思っている。